

群青

～いじめ問題を考える～

串木野高等学校図書館

令和6年9月9日発行

いじめ問題を考える週間(9月9日～9月13日)

『世界がもし100人の村だったら』

C. ダグラス・ラミス

池田香代子

世界には63億人の人がいますが
もしそれを100人の村に縮めるとどうなるでしょう。

100人のうち52人が女性です。48人が男性です。

30人が子どもで 70人が大人です。そのうち7人がお年寄りです。

90人が異性愛者で 10人が同性愛者です。

70人が有色人種で 30人が白人です。

61人がアジア人です。13人がアフリカ人 13人が南北アメリカ人 12人がヨーロッパ人
あとは南太平洋地域の人です。

33人がキリスト教 19人がイスラム教 13人がヒンドゥー教 6人が仏教を信じています。

5人は、木や石など、すべての自然に靈魂があると信じています。

24人は、ほかのさまざまな宗教を信じているか あるいはなにも信じていません。

17人は中国語をしゃべり 9人は英語を 8人はヒンドゥー語とウルドゥー語を

6人はスペイン語を 6人はロシア語を 4人はアラビア語をしゃべります。

これでようやく、村人の半分です。

あとの半分は ベンガル語, ポルトガル語, インドネシア語, 日本語, ドイツ語, フランス語などを
しゃべります。

いろいろな人がいる。

この村では あなたとは違う人を理解すること

相手があるがままに受け入れること

そしてなにより そういふことを知ることがとても大切です。

(後略)

*2002年の本なので、現在の数字とは異なる場合があります。

「いじめ」や「人権」についての本を展示しています！



『9月1日の君へ』
代 麻理子



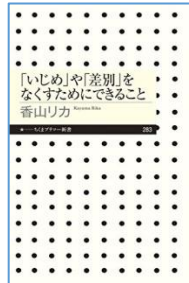
『なぜかいじめに巻き込まれる子どもたち』
川上 敬二郎



『学校、行かなくていいの？』
雨宮 処凜



『まんがでわかる
ヒトは「いじめ」をやめられない』
中野 信子



『「いじめ」や「差別」をなくすために
できること』
香山 リカ



『学校では教えてくれない
自分を休ませる方法』
井上 祐紀



『人権ってなんだろう？』
アジア・太平洋人権情報センター



『日本にレイシズムがあることを
知っていますか？』
～人権・民族・出自差別をなくすために
わたしたちができること
原 由利子



『みえない優しい傘』
NPO 法人東京ソテリア